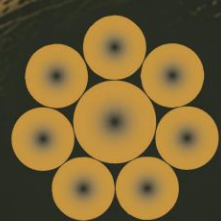


百姓ノ持タル国
ここに始まる

高尾城にはじまる
加賀一向一揆の
実像に迫る



高尾城跡

市史跡指定記念シンポジウム

令和8年11月22日(日) 13:30~16:00 (開場 13:00)

申込不要・参加無料



コジョウ地区・東外堀切



コジョウ地区・主郭

会場

石川県立美術館 ホール
(金沢市出羽町2-1)

主催

金沢市

協力

野々市市・白山市・南砺市

問合先

金沢市埋蔵文化財センター
(TEL 076-269-2451)

— 高尾城の価値を知り、未来へとつなぐシンポジウムへ、ぜひご参加ください —

高尾城跡 市史跡指定記念シンポジウム

— 高尾城にはじまる加賀一向一揆の実像に迫る —



上空から見た高尾城跡周辺

高尾城跡は、室町時代に加賀国を守護として治めていた富樫氏が、合戦の際に立て籠もるための山城でした。長享2年(1488)の一向一揆(長享の一揆)では、守護富樫政親が高尾城で一揆軍に攻め落とされ、加賀は民衆主導による自治体制へと発展しました。そのようすは「百姓ノ持タル国ノヤ(ヨ)ウ」であったと記されています。

日本史上まれにみる歴史的事件の舞台となった高尾城跡が市史跡に指定されたことを記念して、高尾城と加賀一向一揆の実像にせまるシンポジウムを開催します。



発掘調査で出土した遺物

プログラム

◆ 基調講演

東四柳 史明(金沢学院大学名誉教授)
「加賀一向一揆と高尾城合戦」

◆ 報告

庄田 知 充(金沢市埋蔵文化財センター)
「高尾城跡の調査成果」

◆ パネルディスカッション

「加賀一向一揆のはじまりから終焉まで」

パネリスト

東四柳 史明(金沢学院大学名誉教授)
田村 昌 宏(野々市市教育委員会教育部長)
中江 隆 英(白山市観光文化スポーツ部文化課主事)
大楠 晋 也(南砺市生涯学習・文化振興課主任)
庄田 知 充(金沢市埋蔵文化財センター)

コーディネーター

向井 裕 知(金沢市埋蔵文化財センター)



混雑が予想されますので、会場へはできるだけ公共交通機関でお越しください
お車で来場の際は、石川県立能楽堂前の文化施設共用駐車場をご利用ください